とかち新聞

主筆　松山明

（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番

毎旬5の日発行　1カ月150円　1カ年前納1、500円

ままならぬ？「ジャンボ足寄」

スクールバスの購入補助で文部省へ陳情におよんだところ『あゝ足寄町さんかい』と担当官も馴れつ子なもので『またきたね』とばかりに事情をくどくどと説明するまでもなく先刻ご承知のツウツウのあいだがらになっているほどでーバス会社なみに十五台ものスクールバスをそろえているのは足寄町だけだそうで、なにしろ面積は香川県なみの日本一のジャンボ町村ー。

それだけに町長は県知事ばりに町議会議員も県議会議員ぐらいの意気込みでことにあたるのでなければ**ということでーあの香川県内には市が五つ、町が三十六、村が三つもあつて九十四万人がひしめいているのに足寄町はそれにつぐジャンボな容れ物ながらわずかに一万五千人で、国家的にももつたいないはなしで、そうかといつて町の力だけで開発できるものではなくどうしても国や道の施策に乗るなり、民間企業の進出をはからなければー。**

空港誘致に〝待つた〟

『学園都市と高速道路に関連して道東の大型空港誘致に名乗りをあげたいがどうか』と、昨年十二月の定例町議会において小林町長としては珍しく積極的に、町の発展には交通体系の整備強化が先決とばかりに問題提起をおこなつたものでこれにたいして町議会では特別委員会を設けて矢野委員長、加藤副委員長、吉田鳴海、新沼、遠山、斉藤（祐）、大浦委員の陣容で調査した結果を四月にとりまとめ、これを七月の定例会で報告しましたが、それによれば

空港については、道三期計画のなかでは五十三年ころまでに千歳空港の新滑走路の完成に主力が注がれるが、将来、北方圏との交流のなかで道東地区に大型空港を設置することが必要となつてくると思料される、従つてそうした情勢を常に把握するとともに、国などが必要があつて経済調査など町内の事前調査を実施するようなことがある場合はこれを拒むべきでないとして、なんとも歯切れのよくないものでした。

町長は誘致の名乗りをあげたいといつているのにたいしてはまともにこたえていないことで　こちらから積極的に運動をするなという反面、国が調査に入る場合は断るなというもので、全然ダメではないがヂツと様子を見ていろと〝待つた〟がかかつたわけで、町長としては動きようのないはなし。

こうした画期的な大事業は地の利や気象条件もさることながら地元の反対運動が一番の障害なので、地元に積極的な受け入れ体制がなければ調査に入るのも難しいといわれており、なんといつても誘致するのかどうかこちら側の意志決定が先決問題。

しかし飛行場には騒音公害がつきものであるところからフグは喰いたし命は惜しゝやで尻込みは当然ですが、帯広空港のように五〇〇㍍そこそこに住宅や学校があるところはムリだし自衛隊など軍事目的のものは断るべきだとしても、航空機といつても列車や自動車とともにひとつの交通機関であつて、香川県につぐ広大な面積の町であれば遠く人家を離れた地域に大がかりな空港を設けるスペースが充分にあつて公害防止の措置はとれるし、町民のなかには積極的に誘致賛成の声のあるのは事実で、保守派の十七議員が空港誘致で結束しているというのに議会ではそれほど熱意のある発言はなかつたこと。

楽園ではない学園都市

公害といえば、大自然の処女地を一挙に開発する学園都市こそは最大の環境破壊であり強力な公害の先兵であるのに、こちらの方はイトモ簡単に誘致を議決したものですが、ひと足お先に建設中の筑波学園都市の実態をみても、ホンの一部の技術研究の四施設が移転してきて研究活動をはじめただけですでに周辺に深刻な「水」の問題がおきていることです。

筑波学園都市の上水道は百本の井戸からの地下水でまかなうことにしていますが、付近の町村では地下百㍍の井戸が水枯れとなり堀り下げに追われていることで、そのうえ化学薬品や有害物資を大量に使用する学園都市ならではの研究汚水の放流に流城住民やキリンビール工場の反対によつてパイプラインで利根川や霞ガ浦への放流に変更したほどですが、しかし利根川の水を飲料水にしている下流の町村は反対、霞ガ浦は鹿島、千葉、東京方面の工業用水源であるだけに、これでは湖の自浄作用が失われて汚染がひどくなり漁場へも影響すること。

五万都市ともなれば、生活汚水、産業汚水などが一日五万トンが排出されるので、とても空港の騒音公害どころではなく、汚水の完全処理は実験段階でまだ実用化されていないだけに、学園都市といえどもパラダイスではなく、誘致運動とともに公害対策にもとりくまなければー。

スローな小坂山の開発

夏はゴルフ場に、冬はスキー場にして一大レジャー施設と別荘地帯にという小坂山の開発については、業者から町に話しがあつたのは昨年の暮、議会へもち込まれたのは三月、計画書が提出されたのは六月ですでに二カ月をすぎて工事適期もわずかとなり業者は焦つているが、受け入れ側はスローモーションのお役所ぶり。

なにしろ町有地一千二百㌶の売買というジャンボな取引で二社の競願であり、本当に計画どおりに実行するのか、あるいは土地の買い占め転売であつてはと十理事者も議会も慎重を期してお互いに責任をカブリたくたくないとしても、こうした問題にはある程度〝男は度胸〟で両者が一体となつてとりくまねばー。

企業あるからには資本を投じて利益をあげるのが目的で、それはそれとしても地域住民のプラスとなり町の財政に寄与するかどうかということで、別荘用土地としてゴルフ場会員を募集し経営にあたるので、見ぬらしがよく広くて安い土地が〝商売道具〟になるわけで、もともとこの地帯は農地にも林地にも適しない僅の原野で、上利別産業開発期成会ではかねてからこういつた開発を町に陳情していたものですが、高原に二千戸もの別荘地帯ができれば白糸川、塩幌川への生活汚水はさけられないので〝ダメならダメ（特に一方は警察がマークして土地買い占め業者といいますがー）とすべきでそうでなければ計画の完全実施と公害対策を条件によいで時期を失せずテキバキと処理してもらいたいところ。

新婚　婚礼衣裳　ものと帯は　㊥久保呉服店　足寄町　T二一四八

暑中お見舞申しあげます

自由民主党足寄支部

支部長　鷲足賢
副支部長　河向一夫
同　岡崎一薫
同　柴田栄一
同　加藤満
同　大浦武夫
同　高橋募
同　阿部俊夫
幹事長　高橋佳夫
総務会長　石田富男
政調会長　大野耕太郎

日本社会党足寄支部

支部長　神本三也
副支部長　三原幸雄
書記長　香川博彦
同次長　尾西民男
会計　吉田吉之助

日本共産党足寄支部

支部長　矢野寛一
赤旗足寄分局
分局長　新倉万鏡

足寄地区労働組合協議会

議長　水村昭和
副議長　山本清美
同　広富林蔵
事務局長　影井征二
同次長　青木淳
財政部長　菊地義忠
青婦部長　松本強

長谷川義信本別後援会

会長　石山利雄
副会長　牧田庄二
同　高木章
同　吉田松男
同　渡辺一郎
同　野田永述
同　門田三男
同　山西久一
同　山下数一
同　佐野薫
同　天野晴清
同　細岡宗長
同　方川新一
幹事長　前田美次

明るいいこいの店　スナック　シャンブル　足寄町南一区　T二四三九

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花　㊥自動車　新津はなや　足寄町西三区　T二六二六

一五〇㌢高速ホイルバランサー　米国アレーンエンジンテスター　RMアクリル調色機　新鋭機導入！　札幌陸運局認証　整備　板金　塗装　ムトウ自動車工業　足寄町農業共済組合前　T二五七八

不動産についての御相談は　調査　売買　あつせん　管理　分譲　代行　登記　損害保険　代理まで　同和、興和火災保険代理店　北海道免許十26　足寄不動産事務所　足寄町本通り三丁目　T二三四五

家具と建材　信用は最大のサービスは　技術と納期を誇る！　家具　建具　製造販売　住宅内装に新建材を！　佐藤家具建材店　足寄駅前　電話二二二一番